



神山中学校だより

第41号

令和5年（2023年）年7月11日発行



月日	曜日	今月の行事計画等
8/1	火	全校登校日 神中祭実行委員会 11:30下校
8/2	水	
8/3	木	
8/4	金	
8/5	土	四国総体（陸上）
8/6	日	四国総体（陸上、卓球）
8/7	月	
8/8	火	
8/9	水	
8/10	木	
8/11	金	
8/12	土	学校閉庁日
8/13	日	学校閉庁日
8/14	月	学校閉庁日
8/15	火	学校閉庁日
8/16	水	学校閉庁日
8/17	木	
8/18	金	
8/19	土	
8/20	日	
8/21	月	全校登校日 神中祭実行委員会 11:30下校
8/22	火	
8/23	水	
8/24	木	3年未来塾8:50～11:50
8/25	金	3年未来塾8:50～11:50
8/26	土	
8/27	日	
8/28	月	
8/29	火	
8/30	水	
8/31	木	



もうすぐ夏休みです。今年の夏休みは、町の規則改正により7月21日～8月31日となって、県下の多くの学校と同じになっています。また、お盆期間中の8月12日～8月16日までは学校閉庁日となり、学校には職員は勤務していません。緊急の連絡先には、次のメールをご利用ください。（Mail: yaritogekun@gmail.com）そして、7月21日～7月27日までは、各学級で三者面談を実施します。ご協力よろしくお願いします。 学校長

2年生 職場見学バスツアー キャリア教育 6月22日

【*****】「仕事へのイメージ」

私は最初、仕事に対して大変や疲れるイメージがありましたが、大人の話を聞いて意外にもほとんどの人が仕事が楽しいと言っていたのにびっくりしました。話を聞いた一人一人が、いろいろな思いをもって仕事をしていました。中でも、私は森林組合のMさんの話がとても心に残りました。Mさんは木を切っている時、木を殺している、命をいただいているという感覚があるそうです。仕事に対して責任感を持っているのだなと思いました。このように、私の仕事へのイメージはポジティブなものになりました。



【*****】「町内バスツアーを終えて」

町内バスツアーで、自分に合った仕事をみつけることは大切だと思いました。以前まで私は、仕事に対して嫌な、マイナスな偏見を持っていました。ですが、大人の人は、みんな楽しそうに、夢中になって仕事をしていました。自分に合った仕事を見つけることで仕事が嫌から楽しいに変わっていき、向き合っていけると思いました。このような姿を見て、私も早く働きたいという気持ちになりました。バスツアーで学んだことをこれからの生活に生かし、立志式と職業体験につなげていきたいです。



【*****】「好きの凄さ」

町内バスツアーで、今の仕事内容で大変じゃないかと質問すると、「好きだから考えたこともない。」のような言葉が返ってきました。私は興味があっても、苦手や大変そうと仕事を限定していました。でも考えると楽な仕事なんてないと感じ、将来の夢が決まらない理由が分かった気がします。お話の中で「苦手は練習すれば得意になる。興味のある仕事をすべき。」という言葉がありました。私も苦手の意識を消し、やりたい仕事を探すことを志します。本当に好きが見つかれば苦手、大変など思わないとこのバスツアーで知れました。



【*****】「働くために」

バスツアーに行ってみると、働く人たちの思いや、考えが伝わってきました。仕事の中では楽しいことや、うれしいことがあります。しかし、それをするためには、もしくは続けるためには、小さい頃に誰もが苦労していました。そして、今、自分の好きな職業についていました。バスツアーでは、自分の好きな仕事に就いた人に直接会うことができました。貴重な体験ができてとてもよかったです。



夏休み読書のおすすめ～先生方より～

【*****先生より】

『attack on titan』（著者 諫山 創）

大人気漫画『進撃の巨人』のバイリンガル版、つまり英語版です。内容はご存じの方も多いと思いますが、ドキドキしながら読んで、次が気になるストーリーです。グロテスクな場面、過激な表現も多いので苦手な方にはお勧めできません。また、英語で書かれているので英語の勉強になります。文法が分からなくても話の内容やイラスト、英単語の雰囲気からなんとなく内容がわかることもあるので、英文を読み進むトレーニングになると思っています。日本語版で読んだことがある人は、勉強の合間の気分転換兼英語の勉強に是非！

【*****先生より】

『そして、バトンは渡された』（著者 瀬尾まいこ）

私は、この本を読み終わった後、とても心があたたかくなり、幸せな気持ちになりました。この本で描かれる人間模様は、相手を思いやる気持ちであふれ、自分にとって大切な人たちの顔を頭の中で思い浮かべながら読み進めたい作品です。主人公の少女は複雑な家庭環境ながらも、まわりの大人のやさしさに支えられながら、自分の幸せに気が付きます。本を読み進めていくと、タイトルの意味がわかり、すてきな気持ちにさせてくれます。読み終わった後、自分も誰かにやさしくしたくなる、おすすめの一冊です。

【*****先生より】

『ぼく モグラ キツネ 馬』（著者チャーリー・マッケジー 川村元気（翻訳）

一つ一つのページが、自分の心に寄りそってくれる言葉であふれています。読み終えた後は、自分を大切に、そして自分らしく生きていきたいと思える一冊です。“おおきくなったら、なにになりたい？”モグラにきかれたので、ぼくはこたえた。
“やさしくになりたい”素敵なイラストとともに、心があたたかくなる言葉たちに是非、触れてみてください。

【*****先生より】

『レインツリーの国』（著者 有川 浩）

簡潔に言うと、健聴者と聴覚障害者がいろいろな困難を乗り越えていくラブストーリーです。よくある話かと思われがちですが、聴覚障害があるからというのではなく、人が誰しも持っているコンプレックスとどう向き合うか、がテーマのような気がします。もちろん、聴覚障害について初めて知ったこともたくさんあって勉強になりました。友達や恋人に心を解放するのはできるようでできないものです。二人がすれ違いを乗り越えて成長していく様子に心温まります。

【*****先生より】

『きみの友だち』（著者 重松 清）

みなさんは友だちとの関係で不安を感じたり悩みを抱えたりしたことはありませんか。そんな思い悩む思春期のみなさんに是非一度読んでもらいたい一冊です。主人公の「わたしは、一緒にいなくても寂しくない相手のこと、友だちって思うけど」という言葉がとても印象に残っています。普段の何気ない友だちとの関わりから深く考えさせられる、感動の一冊です。手に取ってみてくださいね。

【*****先生より】

『勉強脳の作り方』（著者 池谷裕二）

「脳は覚えることより忘れることが得意」と聞くとドキッとしませんか？「歳をとると記憶力が衰える」のも間違いだそうです。「何度やっても覚えられない」「がんばっているのに結果が出ない」と悩んでいる人は。脳のしくみを正しく知って、勉強のしかたを見直すことで成果があがるかもしれません。他にも、やる気の出し方や、睡眠と記憶の関係など興味ある内容が科学的に、しかも易しく書かれています。もっと読みやすい本とともに新刊コーナーにあります。

※掲載できなかった先生方の「おすすめ読書」次回掲載します。